

## 8 釧路市標準学力検査の活用等による指導の改善と充実のための取組

【釧路市標準学力検査から明らかになった自校の成果と課題】

### 【教科に関する調査の結果】

#### 第1学年【国語】

##### (1) 目標値との比較

基礎・活用ともに目標値を下回り、活用より基礎の部分に課題がある。領域では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、観点では「言語についての知識・理解・技能」について目標値を上回ったが、それ以外の領域・観点では目標値を下回った。

##### (2) 改善すべき課題

問題の内容では、「話し合いの内容を聞き取る」と「説明文の内容を読み取る」に課題がある。また領域では「読むこと」、観点では「読む能力」に課題がある。

#### 第1学年【数学】

##### (1) 目標値との比較

基礎・活用ともに、目標値を下回った。「図形」領域がほぼ目標値である以外は、領域・観点ともに目標値を下回った。

##### (2) 改善すべき課題

問題の内容では、特に「1次方程式」に課題がある。領域では「数と式」と「関数」に、観点では特に「数学的な見方や考え方」に、それぞれ課題がある。

#### 第2学年【国語】

##### (1) 目標値との比較

基礎・活用とも目標値を上回り、活用に関しては大きく上回っている。領域では「読むこと」、観点では「読む能力」について目標値を若干下回ったが、それ以外の領域・観点では目標値を上回った。

##### (2) 改善すべき課題

問題の内容では、「文法・語句に関する知識」と「説明文の内容を読み取る」ことに課題がある。また領域では「読むこと」、観点では「読む能力」に課題がある。

#### 第2学年【数学】

##### (1) 目標値との比較

基礎、活用ともに目標値を上回った。また、領域・観点ともに、目標値を上回った。

##### (2) 改善すべき課題

問題の内容に関しても全種別で目標値および全国平均を上回っているが、「図形の性質」に関しては、他の種別比に比べてポイントの上回りの差が小さい。

9 チャレンジテストや釧路市標準学力検査等の結果から見られる各学年の成果と課題

	【国 語】	【算 数 ・ 数 学】
1 学年	<p>【成果・課題】 「漢字を読む」、「文法（文節、単語）・語句（歴史的仮名遣い、故事成語）に関する知識」については、正答率が高く、1，2学期に積み重ねてきたことの成果が出ていると言える。「説明文の内容を読み取る」の中の「要旨を捉える、構成や展開を捉える」という選択肢の問題が正確に読むことができていないために、選べていないことが課題である。「書くこと」については「三段落構成で書く、指定された文字数で書く」という条件に基づいて書くことができていない。</p> <p>【今後の改善点】 「読むこと」については、説明文において段落ごとに要旨を書き、全体を見通して構成を考えてまとめるという作業を積み重ねていく。「書くこと」については、条件がついた短作文を書く機会を増やし、訓練していくしかない。</p>	<p>【成果・課題】 正負の数の加法や簡単な1次方程式の解き方、用語の習得など先に見える問題は正答率が高く、成果が現れている。 数量の関係を等式や不等式で表すことに課題がある。 関数では、グラフの座標と式の <math>x</math>，<math>y</math> が対応することに課題があり、正答率が低くなっている。</p> <p>【今後の改善点】 負の数、文字の扱いに慣れ、計算技能の習得はしてきている。数と式では、文章問題から方程式を立てる方法を理解させ、方程式の利点を感じさせる。関数では、多くの事象を式で表したりグラフで表す中で、<math>x</math>，<math>y</math> の役割を理解させる。また、「問題を解ける」という体験をさせることで、自信と集中力をつけていく。</p>
2 学年	<p>【成果・課題】 ほぼ全国平均と同じ正答率になったことが成果であるが、1年生時の既習事項の文法問題（文節の関係）について課題がある。</p> <p>【今後の改善点】 高校入試にも出題される「小学校時の漢字の書き」や「1年生時の文法」など、授業の中で日常的に復習をしていくのは難しいが、学期のまとめの時間などに意識して復習を取り入れていく。</p>	<p>【成果・課題】 落ち着いて前向きに問題に取り組むことで、知識や計算技能を身につけてきた。文章問題を連立方程式で表すこと、関数での増加量の意味の理解に課題がある。また、図形での証明を最後まで完成させることに課題がある。</p> <p>【今後の改善点】 今後も授業で提示する問題を大切に、取り組ませることで、知識や技能を定着させていきたい。また、教科書の内容が終わり次第、毎時間、課題となっている文章問題の立式、代入法、と「関数」領域を中心に、復習する。</p>
3 学年	<p>【成果・課題】 文章の内容を読み取り、物語の登場人物の行動の理由について書いたり、説明文の要旨を説明する文を書いたりすることに課題がある。「書くこと」の前に「読むこと」にも苦手意識を持つ生徒が多いが、無解答率が減っていることは成果である。</p> <p>【今後の改善点】 とにかく無解答を減らすために、問題の意図を読み取ることを訓練していきたい。入試に向けて意識して問題を解き、時間内に文章を読み取り、理解することに力を入れる。</p>	<p>【成果・課題】 知識にかかわることでは、数量の関係を文字式を用いて表すことに課題がある。 活用にかかわることでは、グラフから具体的な事象を捉えること、情報を分類整理することに課題がある。 モーニングテストや、授業での思考場面の設定で、知識の習得、問題の意図を理解し取り組む姿勢はついてきたことは成果である。</p> <p>【今後の改善点】 知識にかかわって、数量の関係を図や表を用いて、イメージを持たせ、文字式に慣れるようにする。 活用にかかわって、関数の単元で、グラフや式、表と関連させて指導していく。また、資料を読み取り文章で表す練習を行う。</p>